

平成26年度  
広島県道徳教育推進連絡会議(第2回)

資 料

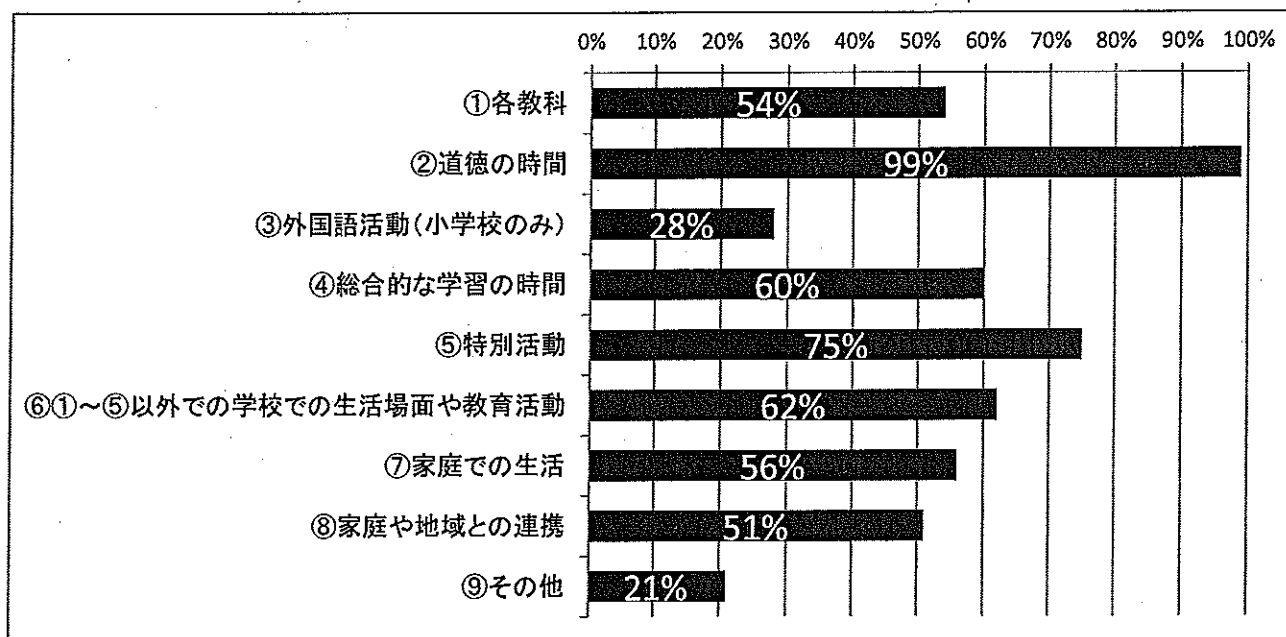
平成26年8月8日(金)  
県庁自治会館301会議室

平成26年度市町道德教育推進協議会参加者アンケート結果

	項目	肯定的な回答の割合							
		平成25年度 第1回		平成25年度 第2回		平成26年度 第1回			
1	今日の研修会は、自校の道德教育の推進に向けて参考になりましたか。	99%		100%		98%			
2	自校の「道德の時間」の内容は充実していると思いますか。	93%		97%		95%			
3-(1)	研修の充実	研修内容と学校の重点課題とのつながりが明確になっている。		91%		91%		90%	
3-(2)		道德教育推進教師を中心に、研修の企画・運営を協働して行っている。		82%		83%		82%	
3-(3)		研修成果を実践につなげやすくする工夫をしている(参加型研修等)。		80%		78%		74%	
4	近隣校同士の道德教育に関する情報交換や研修は充実していると思いますか。	66%		73%		66%			
5	自校では、道德教育の取組みを通信やホームページなどで計画的に紹介していますか。	53%		65%		56%			
6-(1)	機能化	道德教育の指導計画の評価・改善を行っている。		91%		95%		92%	
6-(2)		各学級の道德の時間の実施状況を把握している。		91%		95%		91%	
6-(3)		各学級の道德の時間の充実のために指導助言している。		67%		72%		63%	
6-(4)		道德教育の研修を実施している。		85%		86%		82%	
6-(5)		校外の道德教育に関する研修の内容を回覧等で校内に情報提供している。		80%		83%		80%	
7	自校では、魅力的な教材の開発に取り組んでいる。		64%		68%		71%		
	※「はい」と答えた場合のみ回答		全校 19%	一部 81%	全校 28%	一部 72%	全校 19%	一部 81%	
8	自校では、「広島県道德教育指導資料」を活用した。		73%		76%		70%		
	※「はい」と答えた場合のみ回答		全校 19%	一部 81%	全校 22%	一部 78%	全校 23%	一部 77%	
9-(1)	自校では、「道德の時間」を保護者に公開している。	98%		99%		97%			
9-(2)	自校では、「道德の時間」を地域に公開している。	83%		86%		84%			
9-(3)	自校では、道德教育について保護者や地域の方々と懇談会をもっている	72%		75%		69%			
9-(4)	自校では、保護者や地域の人々の参加・協力による道德授業を行っている。	59%		60%		58%			
9-(5)	自校では、地域の人材の協力を得て、魅力的な教材を開発している。	50%		51%		43%			

	項目	肯定的な回答の割合		
		平成25年度 第1回	平成25年度 第2回	平成26年度 第1回
10	「私たちの道徳」の活用についてお聞きします。 （「今後、実施予定」も含む）			
10-(1)	自校では、道徳教育の全体計画に位置付けている。			92%
10-(2)	自校では、道徳の時間の年間指導計画に位置付けている。			94%
10-(3)	活用場面	①各教科		54%
		②道徳の時間		99%
		③外国語活動（小学校のみ）		28%
		④総合的な学習の時間		60%
		⑤特別活動		75%
		⑥①～⑤以外での学校での生活場面や教育活動		62%
		⑦家庭での生活		56%
		⑧家庭や地域との連携		51%
		⑨その他		21%
10-(4)	自校では、児童生徒による自主的な活用を促している。			55%

10-(3) 「私たちの道徳」の活用場面



# 「私たちの道徳」の 効果的な活用

魅力的な教材の開発や活用

道徳の時間に生かす教材はどのような役割があるのかな？

児童が道徳的価値の自覚を深めていくための手掛りとして極めて大きな意味をもちます。

児童が人間としての在り方や生き方などを多様に感じ、考えを深め、互いに学び合う共通の素材として重要な役割をもちます。

魅力的な教材の開発や活用

道徳の時間で用いられる教材の具備すべき要件はどのようなものでしょうか？

- ア 人間尊重の精神にかなうもの
- イ ねらいを達成するのにふさわしいもの
- ウ 児童の興味や関心、発達に応じたもの
- エ 多様な価値観が引き出され深く考えることができるもの
- オ 特定の価値観に偏しない中立的なもの

魅力的な教材の開発や活用

児童が学習に意欲的に取り組み、学習への充実感を持ち、道徳的価値の自覚を深めることができるようにするための要件は？

- ア 児童の感出・訴え、感動を覚えるようなもの
- イ 人間の弱さやもろさに向き合い、生きる喜びや勇気を与えられるもの
- ウ 生や死の問題、先人が残した生き方の知恵など人間としてよりよく生きることを意味を深く考えさせられるもの
- エ 体験活動や日常生活等を振り返り、道徳的価値の意義や大切さを考えることができるもの
- オ 悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題について深く考えることができるもの
- カ 多様で発展的な学習活動を可能にするもの

魅力的な教材の開発や活用

児童が道徳的価値の自覚を深めるとともに、そのことを通して自己の生き方についての考えを一層深めることができるように、これらの要件を備えた多様な教材の開発と活用が期待されます。

魅力的な教材の開発や活用

教材の開発では、日頃から報道や書籍、身近な出来事など関心をもって、柔軟な発想で、教材を広く求める姿勢をもつことが大切です。

先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材として、児童が感動を覚えるような教材の開発に努めることが求められますね！

魅力的な教材の開発や活用

**先人の足跡**  
多様な生き方が織り込まれ、生きる勇気や知恵などを感じることができ、人間としての弱さを吐露する姿などにも接し、生きることの魅力や意味の深さについて考えを深めることができる。

**自然**  
自然の偉大さや生命の尊さなど、感性に訴えるものが多い。

**伝説や文化**  
有形無形の美しさに郷土や国への誇り、愛情を感じさせるものが多い。

**スポーツ**  
実際に活躍するアスリートなどのチャレンジ精神や力強い生き方、苦悩などに触れて道徳的価値や生き方についての自覚を深めることができる。

求められる道徳の教材の充実

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について  
(答申)中央教育審議会 平成20年1月17日

7. 教育内容に関する主な改善事項 (4) 道徳教育

学校や学年の段階ごとの道徳教育の内容の重点化を踏まえ、それぞれの段階にふさわしい最低限の規範意識、人間関係、生き方、法やルールなどの内容に関する教材を工夫するとともに、先人の生き方、自然、伝統や文化などに人に感動を与える美しさや強さを浮き彫りにした題材を活用することを促進することが必要である。

学習指導要領： 魅力的な教材の開発や活用

求められる道徳の教材の充実

いじめの問題等への対応について(第一次提言)  
平成25年2月26日教育再生実行会議

学校における道徳教育の教材として、具体的な人物や地域、我が国の伝統と文化に根ざす題材や、人間尊重の精神を培う題材などを重視する。

道徳教育の充実に関する懇談会

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

平成25年12月26日 道徳教育の充実に関する懇談会

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第1章 なぜ今道徳教育の充実が必要なのか

- 道徳教育は、自立した一人の人間として人生を他者とともにより良く生きる人格の形成を目指すものであり、教育の根本に据えられるべきもの。
- 道徳教育の現状については、理念の共有や教員の指導力など多くの面で課題が存在。
- 今後の社会において、道徳教育は人間教育の普遍的で中核的な構成要素であるとともに、その充実、今後の時代を生き抜く力を一人一人に育成する上での緊急課題。
- 道徳教育が学校の教育活動全体の真の中核としての役割を果たすよう、早急に抜本的な改善・充実を図ることが必要。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第2章 道徳教育をどのような方向に改善することが求められるか

※学習指導要領に定める道徳教育の目標、内容、指導方法、評価について、以下の観点から改善。

1. 道徳教育の目標について

- 道徳教育を学校の教育活動全体を通じて行うとの考え方は今後とも重要
- 道徳教育の目標とその要である「道徳の時間」の目標とをわかりやすい記述に改め、両者の関係を明確化

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第2章 道徳教育をどのような方向に改善することが求められるか

2. 道徳教育の内容、指導方法、評価について

① 道徳教育の内容

○ 発達の段階ごとに特に重視すべき内容を明確化。  
その際、いじめの防止や生命の尊重、自律心、家族や集団の一員としての自覚、ルールやマナー、法の意義を理解して守ること、社会の一員としての主体的な生き方、アイデンティティなどに特に留意。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第2章 道徳教育をどのような方向に改善することが求められるか

2. 道徳教育の内容、指導方法、評価について

② 道徳教育の指導方法

ア 児童生徒の発達の段階をより重視した指導方法の確立・普及  
※多角的・批判的に考えさせたり、議論・討論させたりする授業の重視。

イ 道徳的実践力を育成するための具体的な動作等を取り入れた指導や問題解決的な指導等の充実  
※「道徳的実践力を効果的に育成するための手段として、ロールプレイやコミュニケーションに係る具体的な動作や所作の在り方等に関する学習、問題解決的な学習を一層積極的に活用。

ウ 「道徳教育の全体計画」等の実質化、道徳の時間と各教科等との関連付けの強化  
※校長のリーダーシップによる実質のある「道徳教育の全体計画」の作成と「道徳の時間の年間指導計画」等との関連付けの強化、保護者や地域への積極的な働きかけ。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第2章 道徳教育をどのような方向に改善することが求められるか

2. 道徳教育の内容、指導方法、評価について

③ 道徳教育の評価

○ 数値による評価は今後とも実施しない。

○ 指導要録に、児童生徒の学習の様子を記録し、意欲や可能性を引き出すための記述式の欄を設けることや、「行動の記録」の効果的な活用など、多様な評価方法を検討。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第2章 道徳教育をどのような方向に改善することが求められるか

3. 教育課程上の位置付けについて

○ 道徳教育については、体系的な指導により道徳的価値に関わる知識・技能を学ぶという「教科」と共通する側面と、人格全体に関わる力を育成する側面の双方の総合的な充実を図ることが重要。

○ このことを踏まえ、今後、道徳教育の一層の充実を図るため、道徳の時間を、学校教育法施行規則において、例えば、「特別の教科 道徳」(仮称)として新たに位置付け、所要の改善を行うことについて専門的に検討すべき。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第3章 道徳教育の改善・充実のためにどのような条件整備が求められるか

1. 教材・教科書について

① 「心のノート」の全面改訂

○ 全面改訂された新「心のノート」(仮称)は、26年度から全国の小・中学校等に配布予定。道徳の時間をはじめとする道徳教育や家庭での教育において十分に活用され、効果を上げることを期待。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第3章 道徳教育の改善・充実のためにどのような条件整備が求められるか

2. 教員の指導方向上について

① 学校における指導体制

○ 学級担任が、「特別の教科 道徳」(仮称)の指導を行うことを引き続き原則とする。

○ 道徳教育に優れた指導力を有する教員を「道徳教育推進リーダー教師」(仮称)として加配措置し、地域単位の道徳教育を充実・強化。

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第3章 道徳教育の改善・充実のためどのような条件整備が求められるか

2 教員の指導力向上について

② 教員研修等

- 管理職・教員の意識改革や資質・能力の向上を図るための研修、教育委員会担当者や道徳教育推進教師等に対する研修を充実
- 学校全体として授業改善のための校内研修を充実

今後の道徳教育の改善・充実方策について(報告)  
～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～

第3章 道徳教育の改善・充実のためどのような条件整備が求められるか

2 教員の指導力向上について

③ 教員養成・免許

- 大学の教員養成課程におけるカリキュラムの改善、履修単位数を一定程度増加させることも検討。教育実習での道徳教育の実地経験の充実も検討。

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

<改訂に当たっての前提>

- ① 学習指導要領の道徳の内容に沿って、道徳的価値や規範意識について自ら考え、実際に行動できるようになることに資する内容とする。
- ② 道徳の時間で活用しやすい内容・構成とする。学校の教育活動全体、家庭での生活や学校と家庭との連携の強化、地域での活動等に際しても活用できるものとする。
- ③ 平成26年4月からの使用できるようにする。改訂は、道徳教育の充実に関する懇談会と調整しながら進める。

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

<具体的な改善のイメージ>

- (1) 冊子構成・名称について
  - ① 学習指導要領の内容と対応させ、小学校低、中、高学年、中学校の別に作成。複数学年使用する特性を生かす。
  - ② 分量は現行の1.5～2倍程度を目安。改訂後の内容を踏まえ、名称の変更を検討する。

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

<具体的な改善のイメージ>

- (2) 内容について
  - ① 内容ごとに読み物部分と書き込み部分のセットで構成。
    - ・ 先人等の残した名言、国内外の偉人や著名人、伝統文化、生命尊重等に関する読み物など、児童生徒が道徳的価値について考える契機となる素材を盛り込む。
    - ・ これまでに文部省・文部科学省で作成してきた読み物資料を積極的に活用する。
    - ・ 「心のノート」の良い面は継承し、児童生徒が感じたことなどを書き込めるようにする。

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

<改訂に当たっての前提>

- ② 児童生徒の発達段階を踏まえ、以下の点を重視する。
  - ・ いじめの未然防止の観点から、悩みや葛藤等の思春期の心の揺れ、心理的な側面も含めた人間関係の理解等に関わる内容を充実。
  - ・ 我が国の伝統・文化に根ざす内容を充実する。  
例)「礼」の具体的な在り方も多様なものがあることなど、広い視野に立った取扱いに留意。
  - ・ 具体的な振る舞い方など道徳的实践を促す「技法」を身に付けることについて盛り込む。

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

＜改訂に当たっての前提＞

② 児童生徒の発達段階を踏まえ、以下の点を重視する。

- ・「食育」、「市民性を育む教育」、「法教育」の視点を踏まえた指導に資する内容を充実
- ・「情報モラル」等、児童生徒を取り巻く環境の変化を踏まえた内容について充実
- ・各教科等での活用も念頭に、探究的、主体的な学びにつながり、職業を含めた将来設計を具体的に考える契機となる内容を盛り込む。
- ・家庭教育との連携や家庭における活用をより重視した内容を盛り込む。

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

＜改訂に当たっての前提＞

③ 体裁等について

- ① 書き込み欄は、家族や教員が記入する欄を充実し、発達段階に応じ児童生徒の使い勝手に配慮
- ② イラストや写真、色調は、児童生徒の発達段階も考慮し適切なものとなるよう配慮

「心のノート」全面改訂の基本的考え方

わたしたち(私たち)の道徳

「わたしたちの道徳」小学校1・2年の概要

読み物資料 (文部省)	「るっぺどうしたの」
コラム	うさぎとかめ(イソップ童話)
読み物資料 (自作資料)	「小さな力のつみかさね」二宮次郎
格言	武者小路実篤 「いい悪いとはどんかさいことでもするれいり」
読み物資料 (文部科学省)	「ぼんたとかんた」
読み物資料 (文部省)	「お月さまとコロ」
読み物資料 (文部科学省)	「たびに出て」
コラム	たすけ合って生きる(日野原重明)
読み物資料 (文部省)	「はしの上のおおかみ」

「わたしたちの道徳」小学校1・2年の概要

格言	フレッド・D・ライオン・シラー 「友はよはるこびを三箇にし かなしみを半分にする」
読み物資料 (文部省)	「およげないりすさん」
コラム	おはかまいり(河合雅雄)
読み物資料 (文部省)	「ハムスターの赤ちゃん」
コラム	シロクマ ピース—日本ではじめて人間がシロクマをそだてた話—
読み物資料 (自作資料)	「虫が大すき—アンリ・ファーブル—」
読み物資料 (文部省)	「黄色いベンチ」
読み物資料 (文部科学省)	「森のゆうびん屋さん」
コラム	家族のためにできることはないかな
読み物資料 (文部省)	「ぎおんまつり」

「わたしたちの道徳」小学校3・4年の概要

ことわざ	腹八分目に医者いらず／早起きは三文の徳
コラム	「金色の魚」(節度について考えさせる話)
読み物資料 (文部科学省)	「少しだけなら」
コラム	夢は見るものではなく、かなえるもの(澤穂希)
読み物資料 (自作資料)	「きっとできる」(高橋尚子)
格言	義を見てせざるは勇なきなり
読み物資料 (文部省)	「よわむし太郎」
読み物資料 (文部省)	「六セント半のおつり—リンカーンの話—」(エイブラハム・リンカーン)
読み物資料 (文部科学省)	「うれしく思えた日から」
読み物資料 (自作資料)	「心と心のあく手」



平成26年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会における  
初等中等教育局教育課程課 赤堀 博行 教科調査官 配付資料より

「私たちの道徳」小学校3・4年の概要	
コラム	友達の歌「See You」「すてきな友達」
読み物資料 (文部省)	「同じ仲間だから」
読み物資料 (文部省)	「ヒキガエルとロバ」
コラム	植物と共に生きた人(牧野富太郎)
コラム	「花さき山」
読み物資料 (文部省)	「富士と北斎」(葛飾北斎)
読み物資料 (文部省)	「雨のバス停留所」
コラム	働くすがたが、かがやいている人たち(天野薫、小篠綾子、井深大)
読み物資料 (文部省)	「ブラッドレーのせい求書」
読み物資料 (文部省)	「みんな、待っているよ」
コラム	ふるさとを愛した歌人(石川啄木)
コラム	日本の文化にひかれて(小泉八雲)

「私たちの道徳」小学校5・6年の概要	
コラム	「もったいない」を世界共通の言葉に(ワンガリ・マータイ)
コラム	夢に近づき方(内村航平) 目標に向かって努力を重ねた人たち(豊田佐吉、森光子、向井千秋)
読み物資料 (文部省)	「ヘレンと共にーアニー・サリバンー」
格言	ピタゴラス「自利心のない者に自由はない」、 福澤諭吉「自由とわがままとの界は他人のさまたげをなすとなさざるとの間にあり」
読み物資料 (文部省)	「うばわれた自由」
格言	吉田松陰「至誠にして動かざる者はいまだこれ有らざるなり」、 夏目漱石「自分に謙虚でないものは決して他人に謙虚であり得ない」
コラム	新しいものを求めるといふこと(中村錦三郎、マリー・キュリー、池田菊苗)
読み物資料 (文部省)	「天からの手紙」(中谷宇吉郎)
格言	礼記「玉がみかざれば光なし」、 ラボック「(幼)去年の自分より今年の自分が優れているのは、空気が此方である。」
読み物資料 (文部省)	「最後のおくり物」

「わたしたちの道徳」小学校5・6年の概要	
格言	ジョン・ファン・ノン「友情は成長のおいしい糧である。それが友情という名の花をさかす前に、幾度かの困難な打撃にたえなければならぬ。」「 ラロシュフォー「友人に不信感を感じたとき、友人に愛をかけることよりも、物ごとくさることだ。」
読み物資料 (文部省)	「知らない間の出来事」
コラム	「顔のしよこ台」(ピクトル・ユエーゴ「ああ無情」より)
読み物資料 (文部省)	「フランコ乗りとピエロ」
格言	キケロ「感謝の心は最大の美徳のみならずあらゆる美徳の両親である」 松下幸之助「(略)感謝の心があって初めて、物を大切にできる気持ちも、人に対するけんきよさも、生きる喜びも生まれてくる。」
読み物資料 (文部省)	「黄熱病とのたたかい」(野口英世)
コラム	「人類愛の金メダル」(東京オリンピック ヨット競技で人命救助を優先したスウェーデンチームの話)
読み物資料 (文部省)	「その思いを受けついで」
コラム	自然をこよなく愛した人(宮沢賢治)

「私たちの道徳」小学校5・6年の概要	
コラム	美しい地球、生命宿る地球(毛利根)／美しいものを探して(奥村土牛)
読み物資料 (文部省)	「きまりは何のために」
コラム	みんなの心がけのぬえ一人の人間(マザー・テレサ)／いびいている君へ(千住明)
読み物資料 (文部省)	「愛の日記」(澤田美喜)
読み物資料 (文部省)	「小川笠船」
格言	山上正徳「娘も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも、 独り寝「楽しみは妻子むつまじくうちつとひ頭ならべて物をくふ時」 野口英世「人生最大の幸福は一家の和樂である」
読み物資料 (文部省)	「人間をつくる道一剣道一」
コラム	日本人として(坂本龍馬、新渡戸稲造) 一船に平和へのいのりを(千玄室) 世界を結んだオリンピック(ビエール・ド・クーベルタン)
読み物資料 (文部省)	「ペルーは泣いている」(加藤明)

「私たちの道徳」中学校の概要	
1-1(1)	人物コラム 「健康な人間をつくるのも医学の役目ではないか」(香川綾)
格言	アリストテレス、ホラティウス、フランクリン
1-1(2)	コラム 「少年よ大志をいだけ」(ウィリアム・スミス・クラーク)
人物コラム	「僕は一歩ずつ階段を上がっていくタイプだ」と思っています。(松井秀喜)
格言	「アウレリウス、スピノザ、魯迅」
1-1(3)	人物コラム 「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人の なさめなりけり」(上杉謙山)
格言	白洲次郎、曾野綾子、井上ひさし
読み物資料 (文部省)	「ネット得銭」
1-1(4)	詩 「秘密」(栗田三)
人物コラム	「未知の世界を探究する人々は地図を持たない旅人である。」(湯川秀樹)
格言	ユーゴー、アインシュタイン、サン＝テグジュペリ

「私たちの道徳」中学校の概要	
1-1(5)	人物コラム 「医師がなぜおれは病者は人の役に立つておれを思っています。」(山中伸弥)
格言	世阿弥、西田幾多郎、河合隼雄
2-1(1)	人物コラム 礼儀作法は堅苦しいものではなく単なる形式でもない、社会生活の潤滑油です。(松下幸之助)
格言	貝原益軒、新渡戸稲造、チャップリン
2-1(2)	人物コラム 日本人の「思いやり」を世界が見ている(若田光一)
格言	アラン、太宰治、マザー・テレサ
2-1(3)	コラム 「正岡子規と夏目漱石」
人物コラム	友情は、人間関係の中で最も洗練された、そして純粋な美しいものの一つだと思う。(木田原一郎)
格言	ゲーテ、キルケゴール、ロマン・ロラン
2-1(4)	人物コラム "...she is a person who does handsome."新島襄が美の八重を紹介した言葉(新島八重)
格言	フィッチ、与野野子、倉田百三

平成26年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会における  
初等中等教育局教育課程課 赤堀 博行 教科調査官 配付資料より

「私たちの道徳」中学校の概要	
2-⑤	人物コラム   己の知らざることは何人にもならうべし(山岡鉄舟)
格言	孔子、ヴォルテール、ジイド
読み物資料 (文部科学省)	「言葉の向こうに」
2-⑥	人物コラム   不器用な自分を支えてくれた全ての人に感謝したい。(樋分精彦(元小村・高見盛))
格言	鈴木大祐、シェヴァイツァー、ケネディ
読み物資料 (文部科学省)	「帰郷」
3-①	人物コラム   人の命を救い、人々の苦しみを和らげる以外に考えることは何も無い。(緒方洪庵)
格言	ハイデッガー、吉川英治、フランクフル
読み物資料 (文部科学省)	「キミはあちゃんの椿」
3-②	コラム   コウノトリ野生復帰プロジェクト
人物コラム	私たちのために地球という星があるわけではありません。(大木聖子)
詩	「虹」ワズワース

「私たちの道徳」中学校の概要	
3-③	コラム   人運、博愛精神第一 (杉原千畝)
人物コラム	私たちは皆、幸せになることを目的に生きています。(アンネ・フランク)
格言	老子、パスカル、ルソー
読み物資料 (文部科学省)	「二人の弟子」
4-①	人物コラム   ワールドカップでも、リーグでもジュニアの試合でも、カードに相当する行為に違いない。(西村健一)
格言	夏目漱石、吉野作造、菊池寛
読み物資料 (文部科学省)	「二週の手紙」
4-②	人物コラム   いくら年をとっても人間を辞職するわけにはいかん(沢沢果一)
コラム	大船渡市立第一中学校「希望新聞」
読み物資料 (文部科学省)	「鳩が飛び立つ日」石井兼子一

「私たちの道徳」中学校の概要	
4-③	人物コラム   全ての人の目から、あらゆる涙を拭いてあげることが私の願いである。(ガンディー)
メッセージ	いじめ撲滅宣言(東京都中学校生徒会長サミット)
4-④	コラム   はやぶさプロジェクト
格言	ゲーテ、エマーソン、小津安二郎
4-⑤	人物コラム   仕事の見返りは相手の方が走れた感動です。(鈴木邦雄)
格言	北風集三郎、内村鑑三、國木田独步
4-⑥	コラム   「誰かのために」(藤田真)
読み物資料 (文部省)	「一日のノート」
4-⑦	コラム   「旗立ちの日に」が生まれるまで

「私たちの道徳」中学校の概要	
4-⑧	コラム   ふるさとの発展に貢献する(三重県立相可高等学校)
人物コラム	住民百世の安堵を図る(濱口梧陵)
メッセージ	「ふるさと」に寄せる短い手紙
4-⑨	人物コラム   木を生かすには、自然を生かさねばならず、自然を生かすには自然の中で生きようとする人間の心がなくてはならない。(西岡常一)
格言	西倉天心、白洲正子、野村萬斎
4-⑩	人物コラム   オリンピックを真に世界の文化にせねばならない(憲精治五郎)
メッセージ	中学生のみなさんへ(緒方貞子)
読み物資料 (文部科学省)	「海と空一視野の人々」

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用するポイントは何ですか？

ひとつは、道徳の時間の特質である道徳的価値の自覚を深めるために活用することです。

その上で、道徳の時間の学習指導過程の各段階で意図的に活用します。

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

道徳の時間の特質である道徳的価値の自覚を深めることを確認しましょう。

「道徳的価値の自覚」は、例えば「人間としてよりよく生きる上で大切なことを基に自分自身を見たときに、現在の自分がどのような状況にあるのかを明確に把握すること」ととらえることが考えられます。

なるほど！親切や友情、節度などの道徳的価値について自分はどういう状況かを自覚するということか！

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

道徳的価値の自覚を深める学習は解説に例示されています。

- ① 道徳的価値についての理解を深める  
(価値理解、人間理解、他者理解)
- ② 自分とのかかわりで道徳的価値がとらえる
- ③ 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培う

解説P30

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

道徳の時間の学習指導過程についても解説に例示されています。

道徳の時間の学習指導過程の各段階 解説P84

導入  
主題に対する児童の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて動機付けを図る段階

展開  
主題のねらいを達成するための中心となる段階、中心的な資料によって、児童一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値についての自覚を深める段階

終末  
ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、自分のものにしたりして、今後の発展につなぐ段階

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する基本的な考え方はどのようなものですか。

- ① 道徳の時間での活用を充実させるために掲載した読み物資料を中心的な資料として学習を進める。
- ② コラムの中にも、工夫次第で一時間の道徳の時間の中心的な資料となるものもあるので活用を工夫する。
- ③ 先人の格言を授業の導入におけるねらいとする道徳的価値への意識付けや、終末における道徳的価値についてまとめに活用する。
- ④ ワークシートなどの書き込み部分を、児童生徒が自分自身を見つめたり、考えを整理したりすることに生かす。

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

第2学年 友情：およげないりすさん

導入  
主題にかかわる問題意識をもたせる導入  
●友達と遊んだり、勉強したりしたことを。(P74)

展開  
道徳的価値の自覚を深める  
●「およげないりすさん」を読んで、(P78～)  
●友達と仲よくして楽しかったことや、かかったことを振り返る。(P76)

終末  
学んだことを確かめる  
●「友情は喜びを2倍にし、悲しみ1減らす」について考える。(P75)

「私たちの道徳」を道徳の時間で活用する

導入  
■ ことわざ、格言、イラスト、写真などを基にして、主題にかかわる問題意識をもたせたり、学習への雰囲気作りをしたりする。

展開  
■ 読み物資料を基に自分とのかかわりで道徳的価値の理解を深める。  
■ 書き込み欄を活用して、現在の自分自身を振り返る。

終末  
■ ことわざ、格言、イラスト、写真などを基にして、道徳的価値に対する思いや考えをまとめる

「私たちの道徳」を各教科で活用する

「私たちの道徳」を各教科の学習で活用するポイントは何ですか？

道徳教育と各教科の目標、内容及び教材とのかかわり

学習活動や学習態度への配慮

教師の態度や行動による感化

「私たちの道徳」を各教科で活用する

「私たちの道徳」を各教科で活用する

「私たちの道徳」を各教科で活用する

「私たちの道徳」を各教科で活用する

各教科の学習内容には、道徳の内容に深く関わるものが多くあります。  
どの教科のどの単元、あるいは題材などで、どのように「私たちの道徳」を活用するのかは、学校の道徳教育の目標によりますが、  
各教科における道徳教育を進める際に、「私たちの道徳」の関連するページを開いて確かめたり、調べたりするなど、参考にすることができます！

「私たちの道徳」を外国語活動で活用する

外国語活動では、身近な場面やそれに適した言語や文化に関するテーマを設定し、英語でのコミュニケーションを体験したり、場面やテーマに応じた基本的な単語や表現を用いて、音声面を中心とした活動を行ったりする学習を行います。  
その際に、他者とのコミュニケーションのあり方や外国との関わりなどについて考えるときに関係のページを参考にすることができます。

「私たちの道徳」を外国語活動で活用する

⑧世界の人人々どつながって

「私たちの道徳」を外国語活動で活用する

心と心をくみあう  
あじさひ

「私たちの道徳」は、外国語活動の授業で活用することができます。外国語活動の授業で「私たちの道徳」の内容を学ぶことで、外国語の学習意欲を高め、外国語のコミュニケーション能力を伸ばすことができます。

外国語活動の授業で「私たちの道徳」の内容を学ぶことで、外国語の学習意欲を高め、外国語のコミュニケーション能力を伸ばすことができます。

「私たちの道徳」を総合的な学習の時間で活用する

総合的な学習の時間は、子供が興味・関心を大切にして、自ら課題を見つけ、主体的に探究していく体験的、問題解決的な学習を行います。

例えば、「私たちの道徳」の内容から課題を見つけ、共に追究していくこともできるし、様々な学習に合わせて自らの生き方を考える際に「私たちの道徳」を活用することもできそうです。

「私たちの道徳」を総合的な学習の時間で活用する

「公衆のために役立つこと」

「私たちの道徳」の内容は、総合的な学習の時間で活用することができます。総合的な学習の時間で「私たちの道徳」の内容を学ぶことで、社会貢献意識を高め、社会のために役立つことを学ぶことができます。

総合的な学習の時間で「私たちの道徳」の内容を学ぶことで、社会貢献意識を高め、社会のために役立つことを学ぶことができます。

「私たちの道徳」を総合的な学習の時間で活用する

「公衆のために役立つこと」

「私たちの道徳」の内容は、総合的な学習の時間で活用することができます。総合的な学習の時間で「私たちの道徳」の内容を学ぶことで、社会貢献意識を高め、社会のために役立つことを学ぶことができます。

総合的な学習の時間で「私たちの道徳」の内容を学ぶことで、社会貢献意識を高め、社会のために役立つことを学ぶことができます。

「私たちの道徳」を特別活動で活用する

特別活動には、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の内容があります。

いずれも、子供が力を合わせてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成をねらいとしており、実践や考え方などを深めるために活用できるページは多いと考えられます。

「私たちの道徳」を特別活動で活用する

特別活動には、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の内容があります。

いずれも、子供が力を合わせてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成をねらいとしており、実践や考え方などを深めるために活用できるページは多いと考えられます。

「私たちの道徳」を特別活動で活用する

このつながりがないと、その道徳が成り立たない。

「私たちの道徳」を学校・家庭・地域との連携で活用する

「私たちの道徳」は、学校で、家庭で、また地域などで、大人が子供と一緒に話し合い、子供理解を深めるための題材とすることができます。

各種通信や保護者会などで紹介し、大人が連携して活用することも考えたいですね！

「私たちの道徳」を学校・家庭・地域との連携で活用する

このつながりがないと、その道徳が成り立たない。

「私たちの道徳」を学校・家庭・地域との連携で活用する

このつながりがないと、その道徳が成り立たない。

「私たちの道徳」を学校・家庭・地域との連携で活用する

大谷校長の講話

このつながりがないと、その道徳が成り立たない。

「私たちの道徳」の計画的な活用

道徳教育の目標を達成するためには、全教職員の共通理解・共通実践は不可欠ですね。

「私たちの道徳」を用いる際は、学校全体でその生かし方についての共通理解を図ることが大切です。

「私たちの道徳」の計画的な活用

道徳教育の全体計画に位置付けたり、年間指導計画に「私たちの道徳」を生かす箇所を盛り込んだりにすること望ましい。

児童生徒の問題行動等への突発的な指導に「私たちの道徳」の関係のページを活用することも考えられるが、基本的には道徳教育の諸計画や各教科等の指導計画に位置付けて活用することが期待される。

「私たちの道徳」の計画的な活用

道徳教育の全体計画に位置付ける

「私たちの道徳」の計画的な活用

道徳の時間の年間指導計画に位置付ける

「私たちの道徳」は、道徳の時間で活用することを期待して作成されたものであり、掲載されている読み物資料は年間指導計画に位置付けて活用することが期待される。また、コラムや格言、書き込み欄などを学習指導過程の各段階で活用する場合も、年間指導計画に位置付けておきたいところである。

6月	2週	主題名	やさしいこころ
実践名	はしの上的のおおかみ	田島	わたしたちの道徳 ★
ねらい	おしい人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接しようとする心持を育てる。		
1	裏切りにされてうれしかったことを思い出そう。		
2	「はしの上的のおおかみ」を読んで話そう。		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動物たちを温かい心で接しているおおかみはどんな気持ちか。</li> <li>○ 裏切りにされた動物たちはどんな気持ちか。</li> </ul>		
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くにを築き上げたおおかみはどんな気持ちか。</li> <li>○ 動物たちを温かい心で接しているおおかみはどんな気持ちか。</li> </ul>		
5	おしい人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接しようとする心持を育てる。		
6	「私たちの道徳」がたずかなくてよかったことを話そう。		
8月	5週	主題名	こぼれでやることはしっかりと
実践名	小さなもののつみかさね	田島	わたしたちの道徳

「私たちの道徳」の計画的な活用

各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間指導計画などにも、必要に応じて「私たちの道徳」のページを位置付けることで、有効活用が期待できます。

「私たちの道徳」の  
効果的な活用

「道徳の内容」の学年段階の一覧表(小学校第1学年及び第2学年)

	内容項目	連携(地域・家庭)	各教科・特活
1 主として自分自身に関する事	(1)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。		
	(2)自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。		
	(3)よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。		
	(4)うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。		
2 主として他の人とのかかわりに関すること	(1)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。		
	(2)幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。		
	(3)友達と仲よくし、助け合う。		
	(4)日ごろ世話になっている人々に感謝する。		
3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること	(1)生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。		
	(2)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。		
	(3)美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。		



4 主として集団や社会とのかかわりに関すること	(1)約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。		
	(2)働くことのよさを感じて、みんなのために働く。		
	(3)父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。		
	(4)先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。		
	(5)郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。		

「道徳の内容」の学年段階の一覧表(小学校第3学年及び第4学年)

	内容項目	連携(地域・家庭)	各教科・総合・特活
1 主として自分自身に関すること	(1)自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。		
	(2)自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。		
	(3)正しいと判断したことは、勇気をもって行う。		
	(4)過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気に生活する。		
	(5)自分の特徴に気づき、よい所を伸ばす。		
2 主として他の人とのかかわりに関すること	(1)礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。		
	(2)相手のことを思いやり、進んで親切にする。		
	(3)友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。		
	(4)生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。		
3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること	(1)生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。		
	(2)自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。		
	(3)美しいものや気高いものに感動する心をもつ。		

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること	(1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。		
	(2) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。		
	(3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。		
	(4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。		
	(5) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。		
	(6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。		

「道徳の内容」の学年段階の一覧表(小学校第5学年及び第6学年)

	内容項目	連携(地域・家庭)	各教科・外国語活動・総合・特活
1 主として自分自身に関する事	(1)生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。		
	(2)より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。		
	(3)自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。		
	(4)誠実に、明るい心で楽しく生活する。		
	(5)自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。		
2 主として他の人のかかわりに関すること	(1)気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。		
	(2)だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。		
	(3)互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。		
	(4)謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。		
	(5)日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。		

3 主として自然や崇高なものとの かわりに関すること	(1)生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。		
	(2)自然の偉大さを知り、自然環境を大切にす。		
	(3)美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。		
4 主として集団や社会との かわりに関すること	(1)公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。		
	(2)だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。		
	(3)身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。		
	(4)働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。		
	(5)父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。		
	(6)先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。		
	(7)郷土や我が国の伝統と文化を大切にす、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。		
	(8)外国の人々や文化を大切にす心をもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。		

「道徳の内容」の一覧表(中学校)

	内容項目	連携(地域・家庭)	各教科・総合・特活
1 主として自分自身に関すること	(1)望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。		
	(2)より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。		
	(3)自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。		
	(4)真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。		
	(5)自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。		
2 主として他の人とのかかわりに関すること	(1)礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。		
	(2)温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。		
	(3)友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。		
	(4)男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。		
	(5)それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。		
	(6)多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。		

3 主として自然や崇高なもののか かわりに関すること	(1) 生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重する。		
	(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。		
	(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見出すように努める。		
4 主として集団や社会とのかかわりに関すること	(1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。		
	(2) 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。		
	(3) 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。		
	(4) 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。		
	(5) 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。		
	(6) 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。		
	(7) 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。		
	(8) 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。		
	(9) 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。		
	(10) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。		